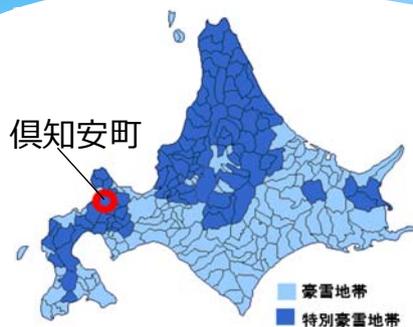


よそからの雪かきボランティアが 地域内共助を促進する可能性

一般社団法人北海道開発技術センター 研究員
(ボランティア活動による広域交流イノベーション推進研究会)
中前千佳

雪氷研究大会 企画セッション
2014.9.20

舞台はじゃがいもとスキーの町 『北海道倶知安町』



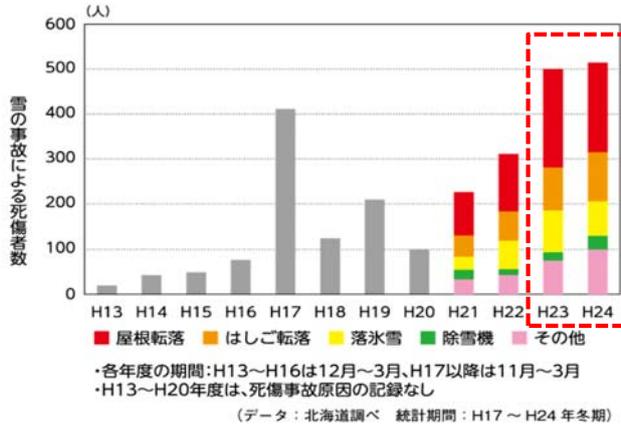
豪雪地帯指定図



写真 夏の羊蹄山(通称エノ富士)

倶知安への「雪はねボランティアツアー」が行われるようになったきっかけ

平成24年豪雪がきっかけ



北海道では近年雪害事故が増加傾向にあり、平成24年度冬期には雪の事故による死傷者数が500人を超えている。



最近、雪の事故が増えているなあ、なんとかできないだろうか？

道庁職員のTさん

倶知安で「雪はねボランティアツアー」が行われるようになったきっかけ

包括連携協定を結んでいる道内の企業に「除雪の事故を減らすための雪のイベントを一緒にできないか」と相談

じゃあ、倶知安で！

どこかで「雪はねボランティアツアー」を一緒にやりませんか？



『ボラベーション研究会』とは？

- 高齢化や過疎化により、除雪等の担い手が不足している地域に、都市部の学生や企業等によるボランティア活動を通じた広域交流を通して、地域にイノベーションを起こすことを目的として設立。
- メンバーは企業の社会貢献に関心のある企業のCSR担当者および大学関係者

平成24年8月

『ボラベーション研究会』設立



平成25年2月

雪はねボランティアツアーを開催
(4地域 計5回、約180名が参加)

倶知安にも来て！

よし！
行こう！



上富良野町



岩見沢市美流渡



三笠市弥生地区

雪はねボランティアツアーは大成功！

地元町内会が実施している「ちょぼら除雪隊」にお願いして、札幌からの参加者も混ぜてもらって一緒に雪はね作業。作業後、町内会の婦人会の人たちが作ってくれた鍋を一緒に食べて交流。地元の人とツアー参加者を合わせると総勢80名がボランティアに参加。〈ツアー参加者〉 34名



倶知安での雪はねボランティアツアーの様子

翌年、六郷親交会にも 「六郷ちょボラ隊」が結成！

【倶知安町マップ】



『広報くっちゃん 平成26年2月号、No.1021』

2年目は、琴和と六郷の2地域で 「雪はねボランティアツアー」を開催

【日時/場所】

- ①2014年2月9日 (日) / 琴和町内会
- ②2014年3月2日 (日) / 六郷親交会



倶知安での雪はねボランティアツアーの様子

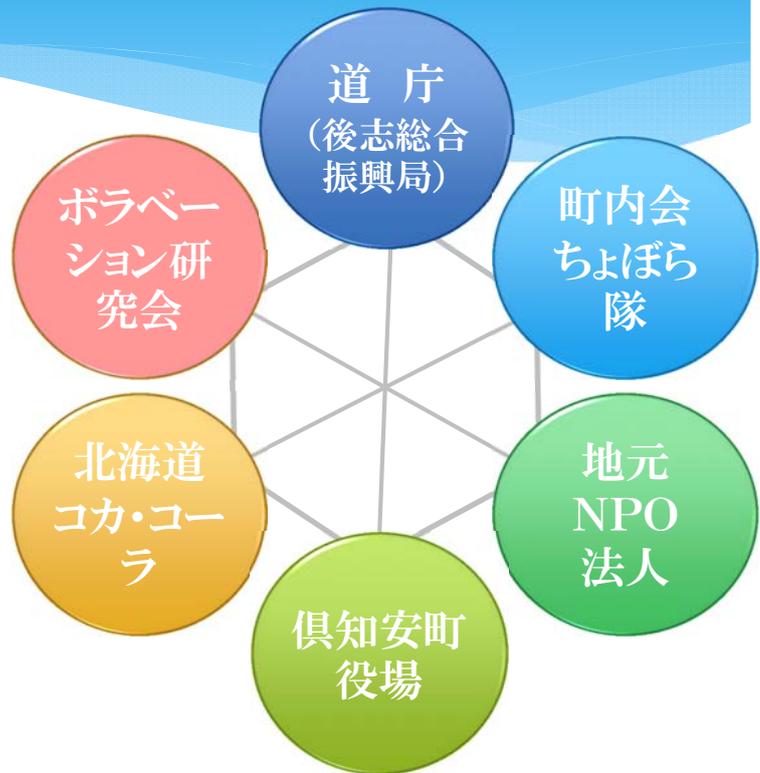
ツアーに関わる人達は総勢100名超え

地元町内会の除雪ボランティア隊に、札幌からの参加者も混ぜてもらおう形で一緒に雪はね。
今年は倶知安中学の生徒さんも参加で大賑わい。

<ツアー参加者>

・2/9(日) 49名
(総勢約110名)

・3/2(土) 50名
(総勢約100名)



六郷ちよボラ隊が立ち上がった 一番のきっかけって何だったのか？

そこで、倶知安町役場のFさんにヒアリングをしました。

昨年度、六郷でちよボラ隊が出来たきっかけは何だったんですか？



それはね…

倶知安町役場建設課のFさん

六郷振興会で「六郷ちょボラ隊」が 結成された大きなきっかけは・・・

六郷親交会の阿部町内会長が琴和町内会の「ちょぼら除雪隊」の活躍を見て、町内の他の地域にも、もっと活動の輪を広げたいと思ったことがきっかけでした。



『広報くっちゃん 平成25年4月号』



琴和に続き、
ぜひうちの
町内会にも！

六郷親交会の
安部町内会長

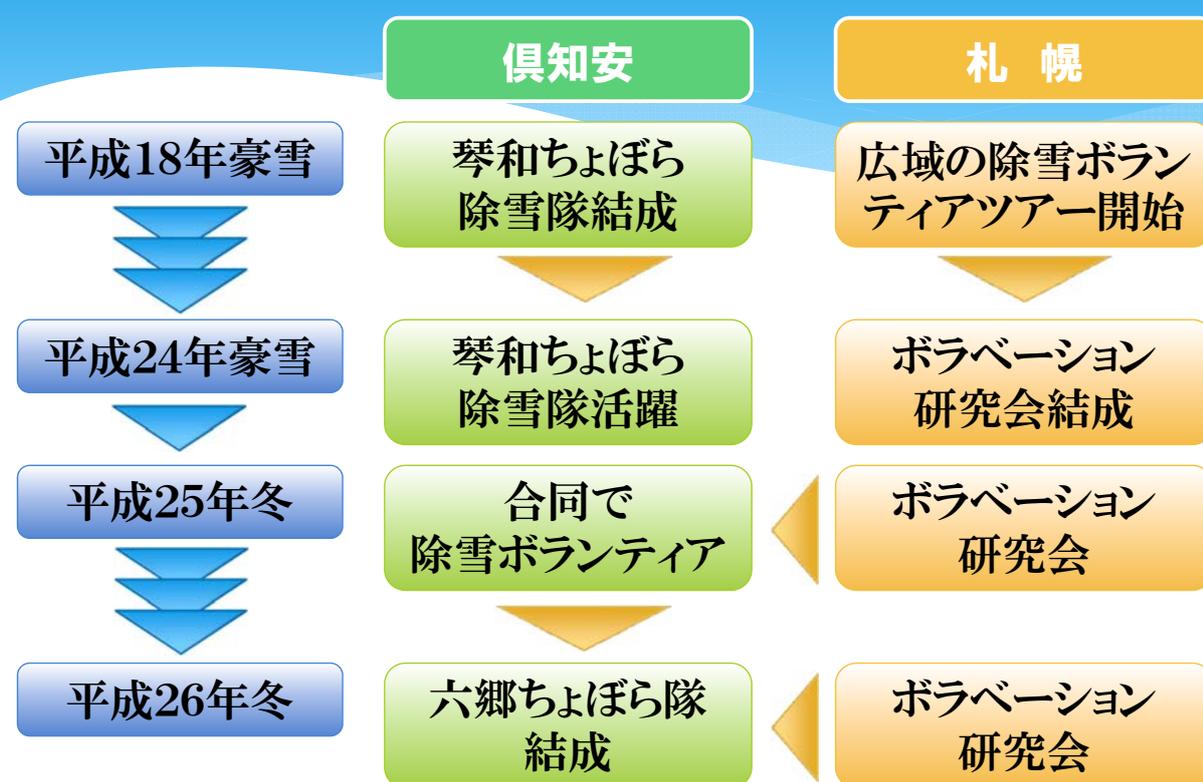
もう一人「除雪ボランティアはイケル！」 と思った人物・・・それは・・・

これは
イケル！



福島世二
倶知安町長
でした。

整理すると・・・



つまり、札幌からの雪かきボランティアが少なからず地域の除雪隊の結成のきっかけになっていた！
と言えるかもしれない。

ただ、その背景として、
『豪雪による被害の拡大』
が住民の除雪に対する意識変化に
大きなきっかけとなっていた。

ボラベーション研究会は、
今回のような機会をきっかけに芽生えた地域内共助の芽を
蔭ながら支えていくお手伝いをしようと思っています。



ご清聴ありがとうございました。

